

平成28年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞
【特許情報活用研究功労者】六車技術士事務所
六車 正道

功 績

株式会社日立製作所入社され、特許調査、特許情報の分析業務、特許情報検索の研究に従事した後、2006年に六車技術士事務所を開設し、特許情報の活用研究に積極的に取り組まれました。

一般社団法人日本知的財産協会では、1992年度より5年間特許情報委員会の委員を務められ、豊富な知見から委員会の議論の活性化に貢献するとともに、特許情報に関する研修講師を約10年間勤められ、2005年に研修功労者表彰を受賞されています。

特許情報の活用研究では、概念検索の使用方法・活用方法の研究を進め、概念検索をイノベーションの発想支援に用いる方法については、その方法を体系的に整理し、書籍として出版されました。概念検索の検索等における効果的な利用方法など様々な観点から研究の成果をとりまとめ、多数の論文などにより広く発信されました。

また、2006年には、特許電子図書館のペタントマップガイダンスではできない、FI、Fタームについてその分類の上位分類も一括して表示させ、上位分類の記載も含めて検索可能な分類照会・検索サービスを開発し提供し、現在は無料公開して利用可能とされています。また、2013年には、欧州米国共通特許分類（Cooperative Patent Classification、以下、CPC）についても同様のサービスを開発されました。日本語文が存在しなかったため、機械翻訳を活用しつつ和文も用意し、上位分類も含めて日本語でCPCを照会・検索可能とし、2014年からはこれも無償で提供するなど、特許情報の効率的な利用の促進に多大な貢献をされました。

このたびは受賞の栄誉を賜り身にあまる光栄と感謝申し上げます。顧みるとこの40年は特許情報の大変革の時代であり、この時代に生きた多くの人と共に私も幸いなことでした。

私は昭和45年に特許情報の分析を始め、昭和58年にパソコンでデータベース検索端末のインテリジェント化をおこなったのは昔話になりますが今日の基礎とも言えます。また紙体制を止め、発明者自身が特許情報をインターネットで利用するシステムは画期的で1998年1月の社内報の表紙を大きく飾ったものです。その後40近い論文などいくつかの著書やセミナーなどにより概念検索などの普及を進めました。技術士事務所として独立後も業務の傍ら新機能の開発に心がけ、最近は無料サービスも心がけております。

このような面白くも楽しい人生を過ごせたのは、指導いただいた諸先輩、迷惑をかけた同僚諸氏、また多くの関係機関の皆さまのお陰と信じております。

